

Rd

2018
SUMMER

No.272

RECYCLE DESIGN

RECYCLE
Design

鶴見区潮田西部地区
環境推進委員の皆さん

特集

資源リサイクルと 横浜について学べる おススメの見学施設

資源リサイクルレポート ちょっとした不注意による異物混入が発火事故の原因に!

● 表紙に登場!「鶴見区潮田西部地区環境推進委員会」 ● りくみの分別講座 ● 始末の一品 ● リサイクル川柳 ● RD NEWS

資源リサイクルと横浜について学べる おススメの見学施設

資源リサイクルに関連する施設は、見学が可能なおとこがたくさんあります。今回は、皆さんにおススメの資源リサイクル施設と、夏休みに家族でお出かけするのにぴったりの横浜を知るための施設とサービスをご紹介します。

写真提供：横浜市、横浜市歴史博物館、横浜都市発展記念館、横浜シティガイド協会

実際に目にとると 新しい発見がきつとある

横浜市には、皆さんが出した古紙や古布、缶・びん・ペットボトル、プラスチック製容器包装などを資源として再利用できるように処理するさまざまな施設があります。自治会・町内会の中には、年間の活動のひとつとして、横浜市やリサイクル組合が運営している資源リサイクル関連施設を見学して、横浜市のリサ

イクルの状況や課題について、積極的に学んでいるところもあります。

実際に各施設を見学すると、パンフレットやインターネットの情報だけではわからなかったことがあるのに気づくと思います。例えば、「缶・びん・ペットボトル」の選別を行う資源選別センターで重要な選別や最終確認の作業はすべて人力で行っていることもそのひとつだと思います。また、機械化され、徹底的に管理された焼却工場の迷路のよ

うな複雑な施設にも驚くかもしれません。ほかにも、廃棄物最終処分場の規模の大きさも実際に目にしないと実感できないところですよ。ぜひ、皆さんの目で確かめてください。

また、環境関連の施設として、横浜市が運営する風力発電所「ハマウイング」も見学が可能です。横浜の歴史について学ぶことができる横浜シティガイドや博物館と合わせて、夏休みにご家族で楽しんでみてはどうでしょうか。

■ リサイクルポート山ノ内

リサイクルポート山ノ内は、リサイクル組合が運営する古紙と古布の中間処理施設です。資源集団回収で集められた古紙を選別して、混入している異物を取り除き、新聞や雑誌、段ボールなどの種類ごとに分別して、高品質な製紙原料にしています。これらは国内外の製紙メーカーに出荷されます。

施設内には、トラックごと重さを計測する大型計量器や、古紙を巨大な塊に圧縮梱包するジャンボプレス機などがあります。

見学内容・申し込み

- 見学内容
 - 第1部「施設内の見学・解説」
 - 第2部「リサイクルに関する講座」
- 申し込み
 - 見学申込書に記入のうえ、リサイクル組合事務局に連絡してください。詳しくはホームページをご覧ください。
- 注意事項
 - ・見学は平日の火・木曜日（10時～16時）
 - ・人数は10～40名まで
- 問い合わせ
 - 横浜市資源リサイクル事業協同組合
 - 横浜市神奈川区山内町13番地
 - TEL：045-444-2531
 - FAX：045-444-2532
 - E-mail：mail@recycledesign.or.jp



■ 資源選別センター

横浜市が運営する資源選別センターは、市内に4施設あります。この施設では、分別収集で回収した「缶・びん・ペットボトル」の資源化をしています。回収時に混入している缶・びん・ペットボトルをそれぞれ選別し、さらに、缶はアルミ缶とスチール缶に、びんは色ごとに、茶色、白、その他に選別します。また、ペットボトルは、PETマークのあるボトルを選別しています。

見学内容・申し込み

- 見学内容
 - ・ビデオによる概要説明
 - ・リサイクルの流れ
 - ・施設内見学
 - ・排出時の注意点や分別の重要性などの説明
- 申し込み
 - 施設見学申込書に記入し、各施設にFAXするか、電話で必要事項を連絡してください。詳しくはホームページをご覧ください。
- 問い合わせ
 - ・緑資源選別センター
横浜市緑区上山1-3-1
TEL：045-935-0098
FAX：045-933-9161
 - ・戸塚資源選別センター
横浜市戸塚区上矢部町1921-12
TEL：045-813-7174
FAX：045-813-8483
 - ・鶴見資源選別センター
横浜市鶴見区末広町1-15-1
TEL：045-503-0091
FAX：045-503-0160
 - ・金沢資源選別センター
横浜市金沢区幸浦2-7-1
TEL：045-785-6802
FAX：045-785-6829



鶴見資源選別センター

■ 焼却工場

横浜市が運営する焼却工場は5施設あります。この施設では回収された「燃やすごみ」を焼却処理しています。回収車両が集めた燃やすごみはピットと呼ばれる場所に貯留され、大きなクレーンで焼却炉に投入されます。運転中の炉内の温度は非常に高温のため、投入されたごみは発火します。また、焼却時の熱を利用した発電も行っています。燃えた後の灰や残渣は最終処分場で埋め立て処分されています。

見学内容・申し込み

●見学内容

- ・焼却工場内の各施設

●注意事項

- ・見学は平日の月～金曜日
(9時30分～16時30分)
- ・人数は10～40名まで

●申し込み

- ・各工場に直接電話で申し込みください。
詳しくはホームページをご覧ください。

●問い合わせ

- ・鶴見工場 TEL: 045-521-2191
- ・保土ヶ谷工場 TEL: 045-742-3711
- ・旭工場 TEL: 045-953-4851
- ・金沢工場 TEL: 045-784-9711
- ・都筑工場 TEL: 045-941-7911



金沢工場

■ 南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場

横浜市で現在稼働している唯一の一般廃棄物最終処分場です。ここでは、焼却工場で発生した焼却灰などを埋立処分しています。最終処分場は重要な施設で、家庭などから出るごみが最後に行きつく場所です。そのため、最終処分場をできるだけ長く利用できるにすることが大切です。行政、事業者、市民の皆さんが協力してごみの減量・リサイクルに取り組んでいる理由のひとつが、この最終処分場の計画的で効率的な活用なのです。

見学内容・申し込み

●見学内容

最終処分場の見学

●注意事項

- ・範囲が広いので、車での案内・移動となります。
- ・見学は月～金の午前10時～12時、午後1時～3時(応相談)

●申し込み

事前に電話で処分地管理課
(TEL: 045-671-2560)へ問い合わせ、依頼文をFAX等で処分地管理課へ提出してください。詳しくはホームページをご覧ください。

●問い合わせ

横浜市資源循環局処分地管理課
横浜市中区住吉町1-13松村ビル7階
TEL: 045-671-2560
FAX: 045-664-9490



■ ハマウィング

横浜市神奈川区の瑞穂ふ頭にあるハマウィングは、遠方からもよく見えるのでご存知の方も多と思います。この風力発電施設も横浜市が運営しています。風力発電は、石油や石炭などの化石燃料を使用しない再生可能エネルギーであり、二酸化炭素を排出しないクリーンな発電でもあります。一般の人の立ち入りができない場所ですので、普通では近づくことができません。ぜひ一度、団体での見学申込みや、見学会に参加して、現地を訪れてみてください。

見学内容・申し込み・問い合わせ

●見学内容

発電施設の内部など、各施設の見学

●注意事項

- ・見学は平日のみ
- ・人数は原則20人以上(応相談)
- ・タクシーや貸切バスなどの交通手段が必要
- ・詳しくはホームページをご覧ください

●問い合わせ

- ・団体での見学
横浜市環境創造局環境エネルギー課
TEL: 045-671-2681 FAX: 045-641-3490
- ・個人での見学
横浜市地球温暖化対策推進協議会
TEL: 045-681-9910 FAX: 045-681-3934



■ 横浜市歴史博物館

横浜市歴史博物館は、横浜の原始時代から開港期までを中心に、約3万年の歴史について研究・展示する博物館です。博物館に隣接して、弥生時代の環濠集落と墓地の遺跡「大塚・歳勝土遺跡」もあります。この遺跡は、国史跡に指定されており、集落内にある復元竪穴住居には実際に入ることもできます。

博物館の常設展示室は、原始時代、古代、中世、近世、近現代の時代別にさまざまなものが展示されています。

利用案内

●開館時間・観覧料など

- ・開館時間: 9時～17時(月曜日、年末年始は休館)
- ・料金(常設展示観覧料)
一般400円(団体320円)
高・大学生200円(団体160円)
小・中学生100円(団体80円)
※団体は20人以上
- ・詳しくはホームページをご覧ください

●問い合わせ

横浜市歴史博物館
横浜市中区山下町1-18-1
TEL: 045-912-7777 FAX: 045-912-7781



■ 横浜都市発展記念館

横浜都市発展記念館は、横浜市の原型が形成された第二次世界大戦前の時代を中心に、横浜の発展の歴史を紹介する博物館です。展示は「都市形成」「市民の暮らし」「ヨコハマ文化」の3つの側面に焦点を当て、歴史資料を中心に展示されています。また、明治時代のレンガ製下水道マンホールの模型や明治期のガス灯などもあります。

記念館のある建物も旧横浜市外電話局として横浜市の認定歴史的建造物になっています。

利用案内

●開館時間・観覧料など

- ・開館時間: 9時30分～17時
(月曜日、年末年始は休館)
- ・料金(入館料)
一般200円(団体150円)
小・中学生100円(団体80円)
※団体は20人以上
- ・詳しくはホームページをご覧ください

●問い合わせ

横浜都市発展記念館
横浜市中区日本大通12
TEL: 045-663-2424
FAX: 045-663-2453



■ NPO法人 横浜シティガイド協会

横浜シティガイド協会は、横浜市内を中心にした地域をガイドする団体です。希望のコースと一緒に歩いて、横浜に関する歴史的な話から最新の情報まで、さまざまな話題をガイドしてくれます。横浜を案内してくれる協会の会員は約100人。年間1万人以上の方たちが利用しています。

横浜マリントワーの2階に、周辺の観光やツアーの案内をしてくれる協会のカウンターがあります。

利用案内

●利用日・時間など

- ・1人～300人程度まで
- ・1人～10人につきガイド1人が案内
- ・年末年始(12月29日～1月3日)以外利用可能
- ・利用時間: 9時～17時で、2時間30分以内
(時間延長は応相談)

●コースについて

- ・協会のモデルコースからコースを選んだり、希望コースを指定することも可能
- ・詳しくはホームページをご覧ください

●問い合わせ

NPO法人 横浜シティガイド協会
横浜市中区山下町15 横浜マリントワー内
TEL: 045-228-7678 FAX: 045-228-7693
土・日・祝日を除く(午前10時～午後4時)



ちょっとした不注意による 異物混入が発火事故の原因に!

皆さんは、資源物の収集車から煙が出たり、資源物のリサイクル工場で収集物が発火するなどの事故について聞いたことがありますか。発火の原因はいくつかありますが、そのひとつに異物の混入があります。今回は、異物混入による発火事故についてご紹介します。

取材協力：横浜市資源循環局

発生事故は少なくとも 異物混入は毎日発生している

資源物は正しく分別することで、適正にリサイクルされます。しかし、ペットボトルにキャップやラベルが付いたままのもの、飲料用の缶にたばこの吸い殻が入っているものや、中身が入ったままのスプレー缶やライターなど、正しく分別されないまま排出されることがあります。正しく分別されていないことにより、資源物としての価値が下がったり、リサイクルできなくなったりするだけでなく、時には事故につながることもあります。

右の表にあるように、「缶・びん・ペットボトル」の中にスプレー缶やライター、ガスボンベが混入していたことで、収集車両内で発煙したり発火する事故が発生しています。「プラスチック製容器包装」の中に乾電池が混入していたことが原因で発煙した例もあります。

収集車両だけでなく、工場でも事故は発生しています。金沢資源選別センターでは、「缶・びん・ペットボトル」の中に小型バッテリーが混入していたことが原因で、選別したスチール缶を圧縮する過程で発煙しています。

表を見ると、発生件数はとても少ないように思うかもしれませんが、実は、発火の原因となるスプレー缶、ライター、ガスボンベ、各種の電池などの混入は、毎日、発見されています。事故にならないのは、収集や選別作業に関わる作業員がとても注意を払って取り除いているからなのです。

正しく分別されないことにより、発火事故などの原因となりますので、ごみの分別は常に注意を払ってお願いします。

異物混入による発火事例

年	資源物	発火内容	原因
2016年	缶・びん・ペットボトル	収集車から発煙	スプレー缶またはライター
	缶・びん・ペットボトル	工場の破砕機が発火	破砕後のため原因不明
	缶・びん・ペットボトル	工場のピット内で発火	燃え広がって原因不明
2017年	缶・びん・ペットボトル	工場の圧縮機から発煙	小型バッテリー
	プラスチック製容器包装	収集車から発煙	単三乾電池
2018年	缶・びん・ペットボトル	収集車から発煙	スプレー缶またはライター
	缶・びん・ペットボトル	収集車から発火	ライターまたはガスボンベ

発火や事故を招く異物の正しい分別

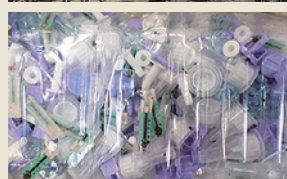
種類	分別
ライター	使い切って「燃やすごみ」に分別
スプレー缶	使い切って「スプレー缶」に分別
ガスボンベ	使い切って「スプレー缶」に分別
小型バッテリー	販売店か回収協力店へ
乾電池	「乾電池」として分別
注射針	医療機関・薬局または中身の見える固い容器に入れて「燃やすごみ」
ナイフ・包丁	刃の部分を新聞紙などで包み、「小さな金属類」に分別



発煙した収集車の消火の様子



プラスチック製容器包装に混入していた電池類



ペットボトルに入った注射針も危険な事故の原因となる。



プラスチック製容器包装に混入していたバッテリー類

表紙に
登場!

鶴見区

潮田西部地区環境推進員会

今回の表紙に登場していただいたのは、鶴見区の潮田西部地区の環境推進員会の皆さんです。撮影には、潮田西部地区自治連合会の会長（後列右端）と資源循環局鶴見事務所の担当の方（後列右から2人目）にも参加していただきました。



盆踊りや例大祭では外国人住人の皆さんも参加している



潮田神社の例大祭の神輿



カラスによるごみ散乱には、ブルーシートを被せるのが効果的



環境推進員による町内清掃活動



リサイクル組合リサイクルポート山ノ内の見学会の様子

鶴見区潮田西部地区は、川崎市と隣接する鶴見区の東部を占め、鶴見川の東岸に位置しています。臨海部は早くから埋め立てられて、京浜工業地帯の中心地となったエリアでもあります。

潮田西部地区には5町会あり、約1,200世帯が加入していますが、加入率は50%程度と、市の平均加入率に比べると低くなっています。理由は、住民に外国人の方と単身世帯が多いからだそうです。外国人居住者は中区に次いで2番目に多く、そのため、ごみと資源物の分別の周知や啓蒙活動には苦勞しているそうです。分別方法は、資源循環局と協力して、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語など8カ国語で掲示したり、チラシを配布していますが、理解してもらうまでには時間がかかるそうです。そのため環境推進員会では、地区内のごみ収集場所を定期的に巡回調査し、管理の課題と解決に力を入れて活動しています。

地区内には留学生が居住する横浜市国際学生会館があり、住民との交流も盛んです。また、地域の行事では、6月開催の潮田神社の例大祭が有名です。

お中元に最適! シングルセット

シングルセットは、人気のりくみのトレペ24ロール、おなじみのりくみのティッシュ15箱、小結くんお試し巻き(30m) 1巻の詰め合わせです。お中元用に熨斗紙をお付けしてお届けいたします。

価格: 1セット **3,500円** (5セット以上のご注文には割引あり)

●お問い合わせ・ご注文……横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 TEL : 045-444-2531 E-mail : mail@recycledesign.or.jp





これでスッキリ!

No. 38

リくみの分別講座

ちゃんとすすいで出そう!



始末の一品

リメイク料理編 Rd

今月の残りもの料理 【 ミートソース 】

自家製のミートソースでパスタ料理を作ったときに、ソースだけ残ることがよくあります。そこで今回は、残ったミートソースを使って、つけ麺とピロシキ風の焼き餃子にリメイクしました。

ミートソースのつけ麺

材料(2人分)

- ミートソース：1人分 めんつゆ(2倍濃縮)：大さじ4
- 豆乳：100cc ●素麺：180g
- きざみネギ・粉チーズ：適量

- ①ミートソースとめんつゆ・豆乳を鍋に入れ、火にかけてよく混ぜる。濃い場合は水を入れて、好みの味に調整する。
- ②器に①のたれを入れ、きざみネギと粉チーズを適量入れる。
- ③ゆでた素麺をつけて食べる。



ピロシキ風焼き餃子

材料(2人分)

- ミートソース：大さじ5 ●春雨：約20g ●ゆで卵：1個(みじん切り)
- ギョーザの皮(市販)：8枚 ●サラダ油：大さじ2 ●塩・こしょう：適量 ●のり：水・小麦粉各小さじ1

- ①ゆでてみじん切りにした春雨とゆで卵、ミートソースをボールに入れ、塩・こしょうを振り、さっくりと混ぜる。
- ②ギョーザの皮に8等分した①を入れ、半周にのりをつけて二つに折り、フォークで押して端をしっかりと止める。
- ③フライパンにサラダ油を入れ、色がつくまで揚げ焼きにする。



佳作

生ごみの臭いに気づく 週2回

(緑区 関連業者)

佳作

間違いを 教えてあげたい 人のごみ

(神奈川区 世話好人)

佳作

再生で 戻ってこいよと ごみに言う

(金沢区 中村 忠)

一席

この雑誌 出すか出さぬか 夫婦揉め

(戸塚区 村岡八郎)

詠んで楽しい

リサイクル川柳

作品募集中 応募方法は最終ページ「RD NEWS」をご覧ください。

2018年夏号 通巻272号
2017年6月25日発行

RD NEWS



横浜型地域貢献企業最上位認定取得

「環境絵日記」市民選考員を募集します

リサイクル組合では「環境絵日記」を今年も広く小学生より募集し、市民の皆さまによる作品の選考会を実施いたします。子どもたちが夏休みに描いた「環境絵日記」(昨年度応募数2万3,057作品)の市民選考員として、市民の目による公平な審査に参加しませんか? 特別な知識や技術は必要ありませんので、どなたでもご参加いただけます。

「市民選考会」によって選ばれたリサイクルデザイン賞(約600作品)は、12月2日(日)に横浜港大さん橋ホールにおいて開催される「環境未来都市・

環境絵日記展2018(仮称)」の会場内に展示される予定です。子どもたちの想像力豊かな作品は、どれも素晴らしいものばかりです。市民選考員になって、あなたの一枚を見つけてください。ご応募お待ちしております。



- 日時：9月29日(土) 午前9時30分～午後4時(予定)
- 場所：当組合会議室(神奈川区山内町13番地)
- 応募方法：リサイクル組合(045-444-2531)まで「環境絵日記の市民選考員を希望します」とお電話ください(受付時間：月～金の午前9時～午後5時)
- 申込締切：9月7日(金)まで
- 備考：昼食をご用意いたします
- 注意：高校生以上の方が対象です。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます

横浜リユースびんプロジェクトの動画公開中!

リサイクル組合のびん委員会では、リユースびんの流通量を増やすことを目的に、さまざまな事業に取り組んでいます。昨年度は、市民の皆さまにリユースびんについて知っていただくため、横浜リユースびんプロジェクト説明動画を制作し、動画共有サイトYouTubeに公開しました。

小学生が描いてくれた絵日記をヒン

トに制作されたオリジナルのリユースびん。このリユースびんを使って、横浜市内の事業者と市民の方々が中心となっているプロジェクトの内容がわかりやすく説明されています。ぜひご覧ください。

- 動画の公開サイト
URL <https://www.youtube.com/watch?v=05KTn1azCak>



横浜リユースびんプロジェクト
説明動画

詠んで楽しい「リサイクル川柳」を募集します!

リサイクルデザインでは購読者の皆さまの「リサイクル川柳」を募集します。日ごろのごみや資源回収、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取り組みに関する一幕を「楽しく」「ユーモア」を交えながら川柳にしてみませんか? 最優秀作品となる「一席」に選出させていただいた作品には、リサイクル組合より再生品(トレペ・BOXティッシュ)セットを

贈呈いたします。皆さまからのご応募お待ちしております。



- 【募集期間】 随時募集中
- 【応募方法】 メール、もしくはハガキにてご応募下さい。
- 【募集内容】 ごみ・資源回収や3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取り組みに関する一幕を詠んだ5・7・5の川柳。思わずクスッと笑顔になるようなユーモアのある作品をお待ちしています。
- 【その他】 作者名は、ペンネーム(柳号)、住居区、性別を記載いたします。氏名は個人情報の観点より、ペンネーム表記とさせていただきますので、応募時に記載をお願いいたします。
- 【応募先】 メール: senryuu@recycledesign.or.jp
ハガキ: 〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地
横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局「リサイクル川柳」宛

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます

リサイクルデザインの発行予定

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

2018年秋号:9月25日

2018年冬号:12月25日

2019年春号:3月25日

2019年夏号:6月25日

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。

